

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／プロダクトデザイン専攻											
デザイン史											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	角田 知義			実務 経験	有	職種	クリエイティブディレクター				
授業概要											
本講義は、デザインの勉強を始める学生を対象とし、「基本的なデザイン用語の理解」、「隣接学問領域との差異からデザイン領域特性の理解」、更に「デザインの歴史の変遷」、社会の変化、技術の変化に伴う「デザインの役割、技法の変化を考察」をすることで、21世紀の現代でデザインを考える上で必要となる基礎的な知識、思考方法を身につける事を目的とする。											
到達目標											
デザイナーとしてのアイデンティティーを培う基礎として、「デザインの概念」「デザインという行為」「デザイン物と社会」という三つ視点を持ち「デザイン史」を理解し活用出来る用になる事を目指します。これらの視点と知識を持つことの重要性の理解と共に、具体的にはデザインを行う上で必須となる「デザイン言語」「観察・分析・整理力」、「発想方法」、「表現技術、設計力」、「思想、社会」についての幅広い知識を習得できる基礎力の向上と獲得を目標とする。											
授業方法											
デザインは“考え方（観察・分析、思考）”と“行為（デザインニング、表現技術）”と“成果（デザインされたモノ、コト）”の三つのレベルで語ることが出来ます。本授業ではこの事を踏まえ、デザインの歴史、今までにデザインされたモノを参照しつつ、これらの三つのレベルで考察することでデザイン基礎的な理解力を付け、更に多様化、変化し続ける21世紀のデザインのあり方、課題、役割、展開についての考察力を付ける。											
成績評価方法											
最終レポート	45%	学期末のレポート、課題を出題します。									
中間レポート	25%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
授業振り返り	20%	毎時間、受講した授業内容を振り返りまとめ、時間終了時に必ず提出すること。									
授業態度	10%	出席状況、遅刻の有無、受講態度を評価します。									
履修上の注意											
本講義はデザインについての基礎的な知識を形成する授業であるので情報量は多くなります、情報収集・整理というでも観点でも授業に集中してノートをとることが必要です。各自の理解度の確認、講義内容に対しての質疑応答のため、毎時間「授業の振り返りシート」を記入、授業時間終了時に提出します。 ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。											
教科書教材											
必要時に配布する											
回数	授業計画										
第1回	デザインの基本（1）／ガイダンス、“デザインの今を考える” デザインを取り巻く環境と学び方を考える										
第2回	デザインの基本（2）／”つくるちから” モノづくりの原点を考える、構成と設計										
第3回	デザインの基本（3）／“つたえるちから” アートとデザインの違いを考える、創造性と想像力										
第4回	デザインの基本（4）／“デザインとアイデア(1)” アイデアを生み出す基礎、観察と整理を考える										
第5回	デザインの基本（5）／”デザインとアイデア(2)” 発想法、展開法、具現化、計画、設計を考える										
第6回	デザインの近・現代史（1）／デザインの黎明期、産業革命とアーツ・アンド・クラフツ運動、万国博覧会の意義を知る										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／プロダクトデザイン専攻	
デザイン史	
第7回	デザインの近・現代史（2）／20世紀「デザインの時代」の源泉、バウハウス以前の時代背景を知る
第8回	デザインの近・現代史（3）／バウハウスの意味、バウハウスの人々とその時代背景を知る
第9回	デザインの近・現代史（4）／第二次世界大戦後、高度経済成長期のデザインを中心にその発展を知る
第10回	デザインの近・現代史（5）／20世紀から21世紀への変遷、アナログからデジタル、ネット化の時代変化の中のデザイン
第11回	現代デザインの捉え方（1）／“現代社会におけるデザイン” デザインと産業と社会と人の関わりを考える
第12回	現代デザインの捉え方（2）／デザインで解決出来るコトとは” 地球資源、地球環境、人間” へのデザインを考える
第13回	現代デザインの捉え方（3）／“多様な問題解決の手段としてのデザイン” のあり方を考える
第14回	現代デザインの捉え方（4）／デザイン思考とコミュニケーション・デザインそしてイノベーションを考える
第15回	現代デザインの捉え方（5）／” グローバルなデザイン” と” ローカルなデザイン” について考える